

レジメン名称	1コース	催吐性リスク
Sacituzumab Govitecan	21日間	中等度催吐性リスク

	薬剤	用量	用法		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
	アプレピタント125mg	1カプセル	1×抗がん剤開始60分前		●							●													
	アプレピタント80mg	1カプセル	1×朝			●	●						●	●											
	アセトアミノフェン500mg	1錠	1×抗がん剤開始30分前		●							●													
滴下順	薬剤	用量	ルート	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	グラニセトロン デキサメタゾン d-クロルフェニラミンマレイン ファモチジン	3mg/100mL 3.3mg 5mg 20mg	メイン	30分	●							●													
2	生理食塩液	50mL	メイン	全開	●							●													
3	サシツズマブ ゴビテカン* 生理食塩液	10mg/kg 250mL	メイン	初回 3時間	●							●													
4	生理食塩液	50mL	メイン	全開	●							●													

*初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は1～2時間へ短縮可能なため主治医へ確認。

UGT1A1遺伝子多型の有無を確認。

輸液バックは投与完了まで遮光する。

サシツズマブ ゴビテカンの投与量が275mg未満の時は生理食塩水は100mLで希釈

サシツズマブ ゴビテカンの投与量が850mgを超える時は生食食塩水を500mLで希釈